

開催案内

リカバリー全国 フォーラム2010

日本の精神保健福祉サービスを
「当事者中心」に変革するために

2010年9月10日fri - 11日sat 文京学院大学(本郷キャンパス)

主催

特定非営利
活動法人
財団法人

地域精神保健福祉機構・コンボ

精神・神経科学振興財団

企画委員長：高橋 清久



リカバリー全国 フォーラム2010

日本の精神保健福祉サービスを
「当事者中心」に変革するために

RECOVERY

こんにちは日本の精神保健福祉サービスは目まぐるしく変化しています。しかし、これらの動きが精神障害をもつ方々にとって本当に役立つ改革なのか、真に有用な取り組みが導入されているのか、確かな実感を持っていない方も多いのではないのでしょうか。このような中、当事者・家族は何をめざして必要なサービスを求め、また支援者は何を目標に支援サービスを提供して行けば良いのでしょうか。

この全国フォーラムで皆さんとともに討議する「リカバリー」とは、精神障害をもつ方々がそれぞれの自己実現やその求める生き方を主体的に追求するプロセスのことです。「リカバリー」は同時に、アメリカ大統領委員会勧告(2003)に明記されるなど、世界の関係者から注目される支援の目標でもあります。

本フォーラムでは、これから毎年、さまざまな立場の人

たち(精神保健福祉関係者、当事者、家族、市民など)が全国からつどい、「リカバリー」について共に考え、理解を深め、「リカバリー」を促進する実践プログラムや支援方法のあり方を「当事者中心」の視点から検討したいと思えます。さらに、「リカバリー」の実現に有用で、効果のあがる実践プログラムや支援方法を、全国的なネットワークを形成して、普及・定着・発展させることをめざします。

日本の精神保健福祉サービスを「当事者中心」に変革し、「リカバリー」理念に基づく効果的な支援方法・実践プログラムを、実践の積み重ねと関係者間の対話の中で、より良いものに築き上げていくことに強い意欲と熱意を持つ精神保健福祉関係者、当事者、家族、市民の皆さんが、全国から積極的にご参画いただくことを心よりお待ちしております。

FORUM 2

後援団体 (6/25現在・順不同・法人種別略)

- 全国精神障害者団体連合会 ● 全国精神障害者地域生活支援協議会 ● 全国精神障害者就労支援事業所連合会
- 日本精神科看護技術協会 ● 日本精神保健看護学会 ● POTA ● 独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構 ● 全国社会福祉協議会
- NHK厚生文化事業団 ● 全国精神保健福祉会連合会 ● 日本心理教育・家族教室ネットワーク ● 日本障害者協議会
- 日本ソーシャルワーカー協会 ● 日本看護協会 ● 日本精神保健福祉士協会 ● 全国保健所長会 ● 日本医療社会事業協会
- 全国精神保健福祉センター長会 ● 全国自治体病院協議会 ● 日本精神科病院協会 ● 日本精神神経科診療所協会
- 日本EAP協会 ● きょうされん ● 日本精神保健福祉連盟 ● 日本精神保健福祉士養成校協会 ● 日本障害者リハビリテーション協会
- 日本精神衛生会 ● 全国精神保健福祉連絡協議会 ● 日本総合病院精神医学会 ● 東京都社会福祉協議会 ● 東京都精神保健福祉協議会
- 東京都障がい者就業支援事業所の会 ● 東京都精神保健福祉民間団体協議会

申請中

- 内閣府 ● 厚生労働省 ● 東京都 ● 文京区 ● 文京学院大学 ● 日本てんかん協会 ● 全国精神保健福祉相談員会
- 日本作業療法士協会 ● 全国保健・医療・福祉心理職能協会 ● 全国精神障害者社会復帰施設協会 ● 日本社会精神医学会
- 日本精神神経学会 ● 日本病院・地域精神医学会 ● 日本精神障害者リハビリテーション学会 ● 日本精神衛生学会
- 日本外来精神医療学会 ● SST普及協会 ● 日本社会福祉教育学校連盟 ● 日本産業精神保健学会 ● 日本ダイケア学会
- 精神障害者地域生活支援とうきょう会議 ● 東京都精神障害者共同ホーム連絡会 ● 東京都精神障害者授産施設連絡会
- 東京都精神障害者団体連合会

企画委員会 (敬称略・順不同、◎企画委員長)

- 高橋清久◎(財団法人 精神・神経科学振興財団) ● 相澤和美(東京医療保健大学) ● 有村律子(NPO法人全国精神障害者団体連合会)
- 伊澤雄一(NPO法人全国精神障害者地域生活支援協議会) ● 伊藤順一郎(独立行政法人 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所)
- 宇田川健(NPO法人地域精神保健福祉機構) ● 大島巖(日本社会事業大学) ● 大橋秀行(NPO法人POTA)
- 加藤大慈(横浜市立大学付属病院精神科) ● 加藤真規子(NPO法人精神障害者ピアサポートセンターこらーるたいとう)
- 金子鮎子(NPO法人全国精神障害者就労支援事業所連合会) ● 佐伯隆史(横浜市立大学大学院医学研究科精神医学部門)
- 佐々木英司(全国精神保健福祉相談員会) ● 寺尾直宏(千葉県精神障害者家族会連合会) ● 仲野栄(社団法人日本精神科看護技術協会)
- 広田和子(精神医療サバイバー) ● 福井里江(東京学芸大学) ● 福智寿彦(愛知県・すずかけクリニック) ● 藤野英明(横須賀市会議員)
- 堀内美穂子(全国精神保健福祉相談員会) ● 増川信浩(WRAPファシリテーター) ● 四方田清(社団法人日本精神保健福祉士協会)

実行委員会 (敬称略・順不同、◎実行委員長)

- 行實志都子◎(文京学院大学) ● 古屋龍太(日本社会事業大学) ● 四方田清(社団法人日本精神保健福祉士協会)

事務局

特定非営利
活動法人

地域精神保健福祉機構

通信
コンボ


“COMHBO” Community Mental Health & Welfare Bonding Organization

〒272-0031 千葉県市川市平田 3-5-1 トノックスビル 2F
Tel.047-320-3870 / Fax.047-320-3871 <http://comhbo.net>


NPO コンボ

検索

2010 9月10日(金) PROGRAM

9:30	受付	
10:00	基調報告	大島巖(企画委員会総括幹事・日本社会事業大学)
10:30	トークライブ	大切な出会いとリカバリー 司会 広田和子(精神医療サバイバー)、古屋龍太(日本社会事業大学) 出演者 「出会い」を通じてリカバリーを体験した当事者のみなさん、サービス従事者のみなさん: 磯田重行(NPO法人WRAP研究会)、坂本明子(NPO法人WRAP研究会)、 戸村昭彦(YFP・横浜フレンドポート)、藤井文子(YFP・横浜フレンドポート、はあとネットワーク港北)、他
12:00	昼休み	
13:00	記念講演	 リカバリーが私たちに意味すること 2009年米国保健福祉省 SAMHSAボイス・アワード受賞者 講師:メアリー・エレン・コーブランド (元気回復行動プラン・WRAP考案者、アメリカ・コーブランドセンター理事長)
14:30	休憩	
15:00	分科会	※詳細は次ページをご覧ください
18:00	懇親会	

2010 9月11日(土) PROGRAM

9:00	受付	
9:30	特別講演	 リカバリーは精神科病院で実現できるか ～イタリアでの経験を踏まえて～ 講師:大熊一夫(ジャーナリスト)
10:00	シンポジウム	日本の精神保健福祉サービスを「リカバリー志向」に変革するには (パート2) ～これまでの支援と何が違うのか、何を变えることができるのか～ 司会 伊藤順一郎(国立精神・神経医療研究センター)、大島巖(日本社会事業大学) シンポジスト 岩上洋一氏(ふれんだむ)、藤田大輔(ACT-Zero)、 磯田重行(NPO法人WRAP研究会)、池淵恵美(帝京大学) 指定発言 大熊一夫(ジャーナリスト)、当事者・ご家族の皆さん、他
12:30	昼休み	
13:30	分科会	※詳細は次ページをご覧ください
15:30	休憩	
16:00	クロージング	
17:00	終了	

プログラムは予定です。名称・時間・出演者等が変更される可能性があります。

1	<p>私のリカバリー宣言 ～一人ひとりの、リカバリー～ 増川ねてる(WRAPファンリテーター)、トークライブ出演者(予定)、他</p> <p>「みんなちがって、みんないい!!」リカバリーって、なんだろう? 体験談を持ち寄って、回復のきっかけや、思いを交わしましょう。違いがあるから、発見がある! 今年は、何がみつかるだろうか? 仲間作りにも、どうぞ!!</p>
2	<p>看護とリカバリー ～本当は、私たちはこんな支援がしたい～ 仲野栄(日本精神科看護技術協会)、柿沼紀子(横浜舞岡病院)、服部眞澄(初石病院)、羽田誠之(黒川病院)</p> <p>ここ数年の精神科病院では「疾病構造の変化」が起こり、色々な状態や年齢層の患者さんが入院しており、限られたマンパワーで多様なケアを提供することが求められています。このような状況の中で、看護師が実現したい退院に向けたケアを報告します。</p>
3	<p>地域における家族支援とリカバリー 大島巖(日本社会事業大学)、土屋徹(オフィス夢風舎)、賛川信幸(日本社会事業大学)、他</p> <p>近年、地域における家族支援や心理教育についての議論は乏しく、活動も停滞気味です。しかし、地域で生活する障害をもつ人の家族を身近なところで支援するのは地域の支援機関であり、そこでの支援のあり方が、家族のリカバリー、そしてご本人のリカバリーに大きく影響するでしょう。この分科会では、リカバリーに貢献する今後の地域における家族支援のあり方を、皆さんとともに考えて見たいと思います。</p>
4	<p>あなたのもっている、生活力、生きる力は、こんなにも素敵です ～ストレングスマデルによるケースマネジメント入門～ 伊藤順一郎(国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所)、久永文恵(NPO法人コンボ・ACT-IPSセンター)、他</p> <p>利用者の長所や技能を生かし、また、環境の長所も生かす。またなによりも利用者の熱意を大切に、"ストレングスマデル"のケースマネジメントのエッセンスを、参加者の皆さんと学びたいと思います。</p>
5	<p>リカバリーを応援する個別就労支援「IPS」と就労移行支援 香田真希子(NPO法人コンボ・ACT-IPSセンター)、池田真砂子(根岸病院)、中原さとみ(桜ヶ丘記念病院)、安藤雅信(IPS利用者)、他</p> <p>「働くこと」はリカバリーに役立ちます。本分科会では働くことを応援する就労支援プログラムの中でも、特に効果があるとされているIPSを紹介しながら、実際にIPSを利用している方のリカバリー体験を聞き、「働くこととリカバリー」について共に考えます。</p>
6	<p>アンチスティグマとリカバリー ～内なるスティグマと外なるスティグマ～ 高橋清久(精神・神経科学振興財団)、宇田川健(NPO法人コンボ)、寺尾直宏(千葉県精神障害者家族会連合会)、他</p> <p>「私は精神病だ。弱い。周りの人も偏見を持っている。だから黙っていよう・・・」等々という内なるスティグマ。その内なるスティグマを忘却するのがリカバリーなら、リカバリーした当事者が社会からの外なるスティグマを消していくのでは?</p>
7	<p>権利擁護とリカバリー 四方田清(日本精神保健福祉士協会)、加藤真規子(こらーるたいとう)、他</p> <p>わが国では精神障害のある人に対する社会的な偏見や差別が未だに存在しています。権利擁護とリカバリーの視点から、障害があってもその人らしい生き方の実現について、是非話し合ってみませんか。</p>
8	<p>ピア活動により切り開く新たな地域移行の局面 ～地域移行推進のため、全国の実践を持ち寄ろう～ 伊澤雄一(はらからの家福祉会)、宮本めぐみ&ピアスタッフ(東京都世田谷区:地域生活支援センターMOTA)、他</p> <p>退院にとまどいや不安を感じている人たちの心に希望や期待の明かりを灯し、安心・安全を提供するピアサポート活動が年を追うごとに過熱し、状況を変えていく大きな力となりつつあります。リカバリーを支えるピアサポートの実践を各地の実践報告により見聞します。そして実践の交流を大きくはかりたいと思います。</p>
9	<p>リカバリーを応援するリラックス・アイスブレイク実践講座 ～緊張もみんなてほくせば怖くない さあはじめよう出会いの準備体操 心のストレッチ～ 月崎時央(LAMAPPA企画・ジャーナリスト)、カクリストクラブ当事者スタッフ(石村徹、田中雪則、間野宏明)、他</p> <p>リカバリー過程の皆さんや支援者の皆さんに役立つアイスブレイク講座です。会議などの、場の空気を暖め、その後の話し合いをリラックスして進めることができます。職業や性別、年齢や障害の有無などに関係なくいろいろな人々が集まって、会議やイベントなどをするとき、最初の緊張をほぐすために、簡単にできるアイスブレイクを複数紹介します。アイスブレイク終了後にリカバリーについて話し合いをし、アイスブレイクの効果を実感していただけます。</p>
10	<p>ACTにおける家族支援 佐藤純(京都ノートルダム女子大学)、他</p> <p>ACT(包括型地域生活支援プログラム)において、家族支援はとても重要な要素のひとつです。サービス従事者は、利用者のご家族と接する機会も多く、ご家族自身のリカバリーを支援する大切な機会でもあります。この分科会では、ACTにおける家族支援のあり方について考えたいと思います。</p>
11	<p>ピアサポートの部屋 広田和子(精神医療サバイバー)、有村律子(全国精神障害者団体連合会)、藤野英明(横須賀市議会議員)、他</p> <p>仲間同士の支えあい(ピアサポート)は、リカバリーの出発点です。仲間同士で語り合うことから、次の一歩が踏み出せるかもしれません。私たちもそうでした。仲間たちと大いに語り合い、楽しい時間を過ごしましょう。</p>

<p>WRAP ～元気回復行動プラン～ 全国のWRAPファシリテーター達:Rie(神奈川県)、まみ(岡山県)、まちも(東京都)、ねてる(千葉県)、じゅんじゅん(神奈川県)、さかもと(福岡県)、かわみなみ(京都府)、大川(北海道)、みどり(東京都)、スマイルまっさー(福岡県)、津野(福岡県)、あや(千葉県)</p> <p>「私の元気を私が作る」…元気回復行動プラン(WRAP)。この分科会では、「元気」をテーマに、お互いの経験から学びあいます。進行は、全国の「認定 WRAP ファシリテーター」。学びと出会いの場によろこそ！</p>	12
<p>家族とリカバリー ～家族が“自分らしく”あるために～ 土屋徹(オフィス夢風舎)、他</p> <p>身内が病気や障害を持って生活をしていると、ついつい家族自身も悩んだり苦しんだりしてしまいます。このワークショップでは、ご家族が自分らしく生きていくことの大切さを知り、参加者同士で語り合うことをすることで、ご家族自身が自分らしく生きるきっかけ作りをしたいと思います。</p>	13
<p>こんな入院ができればいいな、こんな理想的な退院ができればいいな 相澤和美(東京医療保健大学)、他</p> <p>入院に至るまで、そして退院(その後の生活)までの間にちょっとだけ良かった事や苦い体験が数多くあると思います。そこに埋もれているリカバリーを保障するお互いの関わりを、当事者もサービス従事者も共に語りあい、「こうしてみようよ!」と確認しあいませんか。</p>	14
<p>仕事について語り合おう 大島みどり(障害者就職サポートセンタービルド)、働く人のミーティングCATメンバー、他</p> <p>「働きたい!」「でも、働くと大変」。みんなが同じような思いをもっているかもしれません。当事者、サービス従事者という役割を超えて、働くことへの思いをわかちあうワークショップです。</p>	15
<p>はじめよう! IMR(疾病管理とリカバリー) ～リカバリーの実現をめざして～ 横浜市立大学精神科リハビリテーションチーム(加藤大慈、佐伯隆、藤田英美、内山繁樹、水野直武、星竜一、武井寛道、渡辺厚彦、佐藤直子、高木真一、平安良雄、他)</p> <p>IMRは、リカバリーの実現をめざすために、とても役に立つ科学的根拠のあるプログラムです。分科会では、すでに実践している施設からの報告や当事者からの体験談をもとにIMRについて紹介し、IMRをやってみたくなる分科会にしたいと思います。</p>	16
<p>暮らしアラカルト ～(ひとり)暮らし・恋愛・結婚・育児・家族…～ 大橋秀行(NPO法人POTA)、他</p> <p>「暮らし・生活」についてさまざまな想いを共有しながら、お互いの可能性・地域生活の楽しさをひろげていきたいと思います。「暮らし・生活」のことについて、日々思うことや感じていることをみんなで一緒に語り合しましょう!</p>	17
<p>はじめての精神科 堀内美穂子(全国精神保健福祉相談員会)、内野俊郎(久留米大学)、他</p> <p>不調を感じて精神科を受診するまで、長く時間が必要だった経験、ありませんか?自分の体験を通して感じた精神科医療との出会い方、思いを語り合しましょう。当事者、家族、医療従事者、相談支援者の参加求む!</p>	18
<p>デイケアとリカバリー ～デイケアの利用者集まれ(スタッフも可)～ 福智寿彦・本間寛貴・中山ちはる・笹川佑記(愛知県・すずかけクリニック)、永田仁(NPO法人福心 カフェギャラリー寸心)、他</p> <p>デイケアの有効な利用とは何か?リカバリーとピアサポートをヒントに、社会復帰への多様なサービスの中の一つとして、デイケアを主体的に活用する方法について皆さんと考えてみたいと思います。</p>	19
<p>家族による家族学習会 小林清香(東京女子医科大学)、中村由嘉子(名古屋大学)、他</p> <p>家族による家族学習会は、ご家族が主体となって運営する会です。家族同士がともに学びながら、体験の中で得た知識を共有することを大切にします。分科会では学習会をデモンストレーションで体験していただく予定です。</p>	20
<p>精神保健医療福祉システムとリカバリー ～私たちはこんな精神保健医療福祉システムを望んでいる～ 伊藤順一郎(国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所)、福井里江(東京学芸大学)、他</p> <p>精神保健医療福祉がどのようになるといいかについて、自由な形で発言できる場を持ちたいと思います。ルールは「人の意見も尊重すること」くらいでしょうか。当事者の皆さんやご家族の皆さん、そして専門家も含めて、思いを語っていただければと思います。ひょっとしたらゲストもお招きできるかもしれません。</p>	21
<p>ピアサポートの部屋 広田和子(精神医療サバイバー)、有村律子(全国精神障害者団体連合会)、藤野英明(横須賀市議会議員)、他</p> <p>仲間同士の支えあい(ピアサポート)は、リカバリーの出発点です。仲間同士で語り合うことから、次の一歩が踏み出せるかもしれません。私たちもそうでした。仲間たちと大いに語り合い、楽しい時間を過ごしましょう。</p>	22

参加登録・宿泊等のご案内

1 事前参加登録の方法

「ウェブサイト」からの参加登録・申し込み、宿泊予約が可能となっています。

①ウェブサイトからのお申込

「リカバリー全国フォーラム2010」ホームページ上(<http://apollon.nta.co.jp/recovery2010/>)の「事前参加登録・宿泊等の申込」をクリックしますと参加登録・宿泊のウェブサイトへアクセスできます。

【お問い合わせ】

〒260-0013 千葉市中央区中央2-3-16 日本旅行千葉支店「リカバリー全国フォーラム2010」係(担当:阿部・武笠・武仲)
TEL:043-227-2307 FAX:043-225-2241 営業時間 月～金9:30～18:00(土・日・祝祭日休み)

②FAXまたは郵送でお申込

「リカバリー全国フォーラム事務局」(宛先は下記に記載)にお送りください。申込書はこのパンフレットに入っています。
※電話でのお申込はお受けいたしませんので予めご了承ください。

【お問い合わせ】

〒272-0031 千葉県市川市平田3-5-1 トノックスビル2F NPO法人地域精神保健福祉機構
「リカバリー全国フォーラム2010事務局」(担当:桶谷・秋山) TEL:047-320-3870 FAX:047-320-3871
営業時間 月～金 9:30～18:00(土・日・祝祭日休み)

2 参加登録費 ※カッコ内は賛助会員割引料金になります。

種別	事前登録	当日参加	1日参加
一般	8,000(7,000)	9,000(8,000)	—
学生	4,000(3,000)	5,000(4,000)	—
家族	3,000(2,000)	3,000(2,000)	1,500
当事者	2,000(1,000)	2,000(1,000)	1,000

3 分科会

プログラムをご参照の上、ご希望の分科会の番号(第1希望に◎、第2希望に○)を申込書にご記入ください。
特別講演・トークライブ・記念講演・シンポジウムについては参加自由ですので特にご記入の必要はありません。
※定員になり次第締切になる分科会があります。ご希望に添えない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

4 昼食

フォーラム両日ともに、お弁当を用意しております。ご入り用の方は、申込用紙でお申し込みください。
※今年度は、ランチョンセミナーはございません。

5 懇親会

申込書の懇親会欄にご記入ください。

- 懇親会費:お一人様4,000円
- 日時:平成22年9月10日(金)午後6時～午後8時
- 場所:文京学院大学・ラウンジ

6 お申し込み・お支払い

ウェブでお申し込みの場合

ウェブ上のトップページにごございます注意事項をご一読いただきから参加登録を行ってください。なお、ウェブ上で登録後、クレジットカードまたはお振込でのお支払いが可能です。

【ウェブ申込専用振込先】みずほコーポレート銀行 十五号支店 普通口座 3101119

参加申込書での申し込みの場合

①必要事項をご記入の上、FAXにてお申し込みいただき、②参加費・懇親会費・弁当代・宿泊費の代金を振り込んでください。入金の確認ができましたら、登録確認書をお送りします。

【振込先】郵便振替 00230-2-116537 リカバリーフォーラム

お申し込み
お支払い締切日

平成22年8月21日(土)

※恐れ入りますが、お振込手数料はお客様にてご負担ください。

7 宿泊のご案内

宿泊確保日：平成22年9月9日(木)～平成22年9月11日(土)
 宿泊料金：1泊当たり 朝食・消費税・サービス料込(お一人様当たりの料金)

宿泊施設	部屋タイプ	宿泊料金(朝食付)	アクセス
ホテルメッツ駒込	シングル	10,500円	地下鉄南北線駒込駅目の前
ホテルメトロポリタン エドモント	シングル	14,500円	地下鉄南北線飯田橋駅より徒歩約5分
	ツイン	10,700円	
東京ドーム ホテル	ツイン	9,450円	地下鉄南北線後楽園駅より徒歩約5分
	ツイン	9/11 のみ 12,075円	

- 1 ツインルームは2名様でのお申し込みとなります(同室者名も申込書にご記入ください)
- 2 お申込受付順にお手配いたします。ご希望のホテルが満室の場合は、他のホテルへのご案内またはお受けできない場合があります。
- 3 上記設定日以外(前後泊)及び禁煙・喫煙ルームをご希望の場合は、備考欄にその旨をご記入ください。
ご要望に沿えない場合もございますので予めご了承ください。
- 4 ご宿泊当日は、ホテルフロントにてお客様のお名前をお申し出いただければチケットレスにてチェックインが可能です。
ウェブ上でお申込のお客様は「ご請求書」が、ファックス・郵送にてお申し出いただいたお客様はファックスバック又はメールでお送りしたご請求書がご本人確認書面となります。

8 変更・取消

- ウェブサイトからお申し込みいただいた方は、ウェブサイトから変更・取り消しをお願いします。
- FAXにてお申し込みいただいた方は、リカバリー全国フォーラム事務局まで、FAXにてご連絡ください。
- 振り込みいただいた代金(宿泊費以外)の返金はいたしかねますので、予めご了承ください。
※電話での変更・取り消しはお受けできかねますのでご了承ください。

宿泊取消料 ※返金はフォーラム終了後となります。振り込み手数料はお客様負担になります。

取消区分	21日前まで	20日～8日前	7日～前日	当日・無連絡
取消料	無料	10%	20%	100%

9 大会当日のご案内

ウェブ上で登録をいただいたお客様

ご登録いただいた際の「ご請求書」が登録確認書を兼ねています。
 印刷された「ご請求書」をご持参の上、「事前登録受付」にお越しください。

FAX・郵送にて登録をいただいたお客様

リカバリー全国フォーラム事務局より「登録確認書」をお送り致します。ご持参の上、当日の「事前登録受付」にお越しください。

10 ご寄付について

運営費にあてるため、ご寄付をお願いしております。申込書のご寄付の欄に金額をご記入し、参加費等と一緒に送りください。

会場へのアクセス



文京学院大学 (本郷キャンパス)

〒113-8668 東京都文京区向丘1-19-1
 東京メトロ南北線「東大前」駅下車(2番出口)徒歩0分
 都営三田線「白山」駅下車(A2出口)徒歩10分
 東京メトロ千代田線「根津」駅下車(1番出口)徒歩10分
 ※お車でのご来場はご遠慮願います。駐車場はありません。

《国内募集型企画旅行ご旅行条件書(抜粋)》

この宿泊案内(書面)は、旅行業法第12条の4に定めるところの取引条件の説明書面及び同法第12条の5に定めるところの契約書面の一部となります。詳しい旅行条件は、<https://apollon.nta.co.jp/recovery2010/>でご確認のうえお申込みください。●個人情報の取扱について当社は、旅行申込みの際に提出された申込書に記載された個人情報について、お客様との間の連絡のために利用させていただくほか、お客様がお申し込みいただいた旅行において運送・宿泊機関等の提供するサービスの手配及びそれらのサービスの受領のための手続に必要な範囲内で利用させていただきます。なお、当社グループ会社の名称及び各会社における個人情報取扱管理者の氏名については、当社のホームページ(<http://www.nta.co.jp>)をご参照ください。●募集型企画旅行約款について書面の条件書に定めない事項については当社旅行業約款(募集型企画旅行契約の部)によります。当社の旅行業約款をご希望の方は、当社にご請求下さい。当社旅行業約款は、当社ホームページ(<http://www.nta.co.jp>)からもご覧いただけます。●その他旅行条件及び旅行代金算出の基準日は、2010年6月18日を基準にしております。

リハビリー全国フォーラム2010申込書

申込締切日：平成22年8月21日(土)

◆「ウェブサイト」からの参加登録・申し込み、宿泊予約も受け付けています。<http://apollon.nta.co.jp/recovery2010/>

■ 太枠内は全てご記入ください

■ お一人様1枚ご記入ください(不足の場合はコピーしてください)

申込日 年 月 日

氏名(フリガナ)		性別(○) 男 ・ 女	e-mail
登録確認書類送付先 ※FAX・郵送でお申込いただいたお客様のみ			
送付先名:			
送付先住所: 〒			
TEL:		FAX:	
所属 該当に○	01 自立支援法事業所 02 グループ(ケア)ホーム 03 旧社会復帰施設 04 就業・生活支援センター 05 保健所 06 デイケア 07 精神保健福祉センター 08 行政(国・都道府県) 09 行政(市町村) 10 病院 11 診療所 12 ハローワーク 13 福祉事務所 14 家族会 15 当事者会 16 その他()		
職種 該当に○	01 施設職員・世話人・相談員 02 施設長・所長 03 医師 04 OT 05 心理職 06 精神保健福祉士 07 保健師 08 看護師 09 職業相談員 10 事務職 11 当事者 12 ボランティア 13 家族 14 職親 15 研究者 16 ホームヘルパー 17 その他()		
参加区分 該当に○	一般の方 1.一般(8,000円) 2.学生(4,000円) 3.家族(3,000円) 4.当事者(2,000円) 「こころの元気+」賛助会員の方 5.一般(7,000円) 6.学生(3,000円) 7.家族(2,000円) 8.当事者(1,000円) 1日だけ参加の方 (家族・当事者限定) <input type="checkbox"/> 9月10日に参加 <input type="checkbox"/> 9月11日に参加 <input type="checkbox"/> 家族(1,500円) <input type="checkbox"/> 当事者(1,000円)		
希望分科会 第1希望に○ 第2希望に○	9/10(金) 1・2・3・4・5・6・7・8・9・10・11 9/11(土) 12・13・14・15・16・17・18・19・20・21・22		※各日それぞれに第1希望を○、 第2希望を○で囲んでください。 ※申し込み状況により、 ご希望に添えない場合がございます。
懇親会 該当に○	9月10日の懇親会に 1. 参加する(4,000円) 2. 参加しない		
昼食 該当に○	1. 9月10日(1,200円) 2. 9月11日(1,200円)		
宿泊 該当に○ <input type="checkbox"/> 禁煙 <input type="checkbox"/> 喫煙 ご希望に添えない場合 がございます。	9/9(木) 朝食付・税サ込	ご希望ホテル	<input type="checkbox"/> ホテルメッツ駒込 <input type="checkbox"/> シングル10,500円 <input type="checkbox"/> ホテルメトロポリタンエドモント <input type="checkbox"/> シングル14,500円 <input type="checkbox"/> ツイン10,700円(同室者名:) <input type="checkbox"/> 東京ドームホテル <input type="checkbox"/> ツイン 9,450円(同室者名:)
	9/10(金) 朝食付・税サ込	ご希望ホテル	<input type="checkbox"/> ホテルメッツ駒込 <input type="checkbox"/> シングル10,500円 <input type="checkbox"/> ホテルメトロポリタンエドモント <input type="checkbox"/> シングル14,500円 <input type="checkbox"/> ツイン10,700円(同室者名:) <input type="checkbox"/> 東京ドームホテル <input type="checkbox"/> ツイン 9,450円(同室者名:)
	9/11(土) 朝食付・税サ込	ご希望ホテル	<input type="checkbox"/> ホテルメッツ駒込 <input type="checkbox"/> シングル10,500円 <input type="checkbox"/> ホテルメトロポリタンエドモント <input type="checkbox"/> シングル14,500円 <input type="checkbox"/> ツイン10,700円(同室者名:) <input type="checkbox"/> 東京ドームホテル <input type="checkbox"/> ツイン 12,075円(同室者名:)
ご寄付	備考		
円			

※申込書は、代金をお振込みの上、FAX:047-320-3871までお送りください。

合計金額 円

◆振込先 郵便振替 00230-2-116537 リハビリーフォーラム

振込人名義:	振込日:平成22年 月 日
--------	---------------